

# 学校づくりアンケート（教職員向け）に寄せられた声の紹介

2017年2月 尾北教職員労働組合

## 1 道徳に続き、小学校での英語の教科化

～小学校での英語の教科化について～

5 (賛成)

- 将来的に必要だと思うため。
- 現状の週1で5・6年ならば賛成。教科化することで評価の観点をはっきりとさせ意味のうすい所見をやめることができる。
- 格差をなくしていきたい。
- 賛成、反対を問うよりいかに有効に運用するかが重要です。

(反対)

- かなり前から国際化社会で英語が必要になると言われてきたが本当に必要なのは一部の人間。国語などの教科の時間を確保すべき。
- 15 ●担任中心の外国語の授業が週2回となりさらに教科化されることは大きな負担となります。まずは負担増による多忙化の解消案を国が出してから考えてほしい。
- 専科教員もおらず現状のいっぱい状態の中で無理がある。
- 英語の時間数増のマネジメントで学校に丸投げしているのが一番許せない。
- 中学3年間と高校3年間英語教育を行っても英語を話せる人がどれほどいるのだろうか。英語教育の見直しが先。外国に親しみ、外国語にふれるだけで十分だと思います。
- 20 ●授業時数の確保が困難。専門の知識のない教師が考えることでばらつきができ逆に中学校の教員の負担となる。「書くこと」が加わることで英語嫌いが増える。
- 英語嫌いが早期に生まれる。専門のもしくはネイティブの発音を聞くのが一番よい。
- 25 ●英語ができない教員にとって、教えることのストレスが生じる。
- 小学生のうちは英語の楽しさ、興味を持つことが大切で教科として評価することによってその部分がそこなわれる。
- 英語より国語の方が小学校は大切だと思います。言語の基礎が十分でない段階で英語を学習するのはどうかと思います。
- 30 ●なんでもかんでもやればよいという問題ではない。他の教科にもしわよせがきて中途半端になる。
- 国語でさえ十分な力を持っていないのに英語まで教えられると今以上に子どもたちは勉強がいやになってしまうと思う。
- 英語に親しむ程度ではなく教科として取り組みその成果をあげるには中途半端な授業時数であり、結局、学習することを増やすだけで効果がない。
- 35 ●英語嫌いが増えこの先の人生においても「英語＝苦手」という考えになってしまうと思う。
- もっと数学、国語に力を入れるべき。
- 英語は専門性も高くとっさの疑問に対応し正しく回答してあげられるか心配になる。
- 40 ●今でも授業の準備でいそがしいのにさらに教科が増えるのは大変だと感じるから。今、英語でお仕事されている人は幼いころから英語をやってきたから話せるのではなく、話さなければいけなくなったからそのタイミングで勉強したのだと思います。小さなころから英語を学んで全員が話せるようになるのかわかりません。
- 45 ●今の授業体制の中、入る隙間がない。子どもにも教師にも負担がかかるばかり。

●負担が大きい。学び直すための手立ても用意されていない。

(どちらともいえない)

●高学年は他教科の授業内容も難しく指導に時間を必要とするものが多い。英語の教科化は他教科の指導に響くと思う。

5 ●外国語活動の教員が加配され、授業時数にゆとりができるようになれば賛成  
●英語の力をつけるために教科として行うとはいえ、すぐに教科として実施できる状態だとは思えない。

●英語は早くから学ばせたいが教科とするのは早いような気がする。

10 ●子どもの将来の可能性を広げるといえる点では必要と思うが指導していく体制が整っていないと感じるため。

●小さいころから英語に親しむのはよいと思うが専科の先生がいなくて充分効果が挙げられるのか不安。

15 ●日本の子の英語力が低いのではなく「話せない」といわれている。小学校で英語を教えたところでそれが使えなかったら意味がない。中学における教え方を考えるべき。

●教科として重視することには賛成であるが授業時数の確保、通知表での評価など負担が増え効果についても未知であるから。

●負担増や多忙化を解消する手立てが講じられるなら賛成です。

●専門性の高い先生に指導していただきたい。

20 ●教科化することでメリットもデメリットもあると思います。

●早い時期から行うメリットは十分あると思うが、もし英語が不得意な人が教える場合のことも考えると教科化しなくてもよいのではと考える。

●英語教育の必要性は理解できるが現状では負担が増し質を高めるのが難しい。

●小学校での英語の教科化にともない、他教科の授業時間が確保できるのか。

25

(その他)

●実際、週1時間英語となっているが現実にはALTの講師が来校するときだけ英語を行いそうでないときは遅れている教科にまわしている。

●英語でしっかり文字指導をおこなってほしい。

30 ●小学校の英語については専科の教員が必要と考える。

●中学校での「英語による英語授業の実施」については、学力のある子どもにだけ有効であり、そうでない子どもとの差を産出する計画といえる。高水準にいる子だけが学力が伸び、格差につながる。学校には様々な子がいることを考えてほしい。

35 ●中学校での英語による授業は、できると良いとは思っていますが、現実には生徒が理解していないので難しいと思います。

●中学校での英語による授業はあってもよいかと思う。他県で担任による全て英語による小学校への授業をやってきたこともある。

～道徳の教科化について～

40 ●道徳の教科化は英語の教科化よりも反対する思いが強い。何を考えているのかと思う。教科化で逆に学校が荒れるもとなるように思う。

●心の内面を評価したり、価値感を押し付けるのは反対。

●道徳の教科化は考えを押し付けることにつながり、自由がなくなるので反対。

45 ●なぜ「道徳」の教科化なのか？「人権」を学ぶ教科を考えてほしい。道徳は科学の裏づけのないもの。教科としては成り立たない。

- 道徳の教科化も反対です。評価を気にして子どもがきれいごとしか言わなくなると  
思います。
- 道徳の教科化の必要性は分からないが今まで多くの教師がおろそかにした結果なの  
ではないか。
- 5 ●道徳の授業を行っていない地域，学校をなくせばいいのであって，あえて教科化し  
なくてよいと思っています。教育予算を増やし教員を増員してほしい。先進国内最  
低の予算で何もかも学校に押し付けないでほしい。
- 道徳の所見も加わると負担が大変増加するため専科教員などを置いた方がよいかも  
しれないと感じる。
- 10 ●道徳の評価が非常に難しいと思う。
- 道徳の教科化に反対です。「教科」になることで子どもたちの中に発問にゆらぐこ  
となく「いいこと」を言わなければ…という意識ができてしまうと思います。
- 道徳の教科化はおかしい。口だけ道徳的なことを言っていれば評価は上がるのか？  
と思う。洗脳教育だ。国がおかしい。
- 15 ●道徳を教科にするなら道徳科の教師を入れてください。私は中学校の国語科です。

### ～その他～

- さらなる多忙化が懸念されるため正規教員を増やすなどして対応してもらいたい。
- 教科にしても授業者の能力が上がるわけでも，効率が上がるわけではない。必要な  
20 援助をしたうえで形を変えようというならば意味があると思う。
- 大変だと思うが子どものためになるのならばやらなければならないと思う。
- 子どもも教員もストレスを感じながら授業をすることにつながってしまうと思う。
- 担任の負担を減らしてほしい。
- 学ばせたいことや身につけたいことはたくさんありますが，時間には限界があると  
25 思う。
- みんなの知恵を集めて生きる力につながるものにしていきましょう。
- これだけ教科化を進めるのなら，総合や他の特活の内容を削減してもらおうか，外部  
の講師の方にお問い合わせできるような改善をしてほしい。

## 30 2 全国学力テスト

### (事前のテスト対策について)

- 学力テストのために，授業を減らして対策するのはおかしいと思う。
- 大学入試のテスト対策のようになっており，本来の基礎基本の定着の確認にはなっ  
ていない。
- 35 ●テストのために学ぶのは，あまり意味がないような気がします。生きた勉強の先に，  
テストがあるのであれば，良いと思います。
- テスト結果が学校の評価につながっている。そのため，点を上げるためにテスト対  
策をする学校が出てくる。結果の公表なんていない。結果の傾向を学校が知って  
教育に生かすことが大切。
- 40 ●テスト問題は，発展的なものもあり，学校で対策を行うのは変だと思う。
- テスト対策に反対です。それをしたら何のためのテストか分かりません。
- テスト対策のために事前に学習した学校が，点数が上がると思う。
- テスト対策をする学校があるならば，実施する意味がない。
- テスト対策で結果に差が出るのでは本来の目的とは違うのでは。
- 45 ●過去問を解かせるなど無意味なことをやる雰囲気はなくしてほしい。

- それは、学習塾で行うことであり、学校で行うことではない。学力が低い子にとっては苦痛だと思う。
- テスト対策には対しては、絶対に反対。
- 意味のないことはやめたほうがいい。
- 5 ●対策をすれば点数がよくなるのは当たり前であり、普通の学習の力でテストを受けるべきだと思う。
- 過去問を練習させるゆとりは全くない。
- 教えるべき内容が押さえてあれば良いとは思いますが、テストのための勉強になるのは良くないと思います。
- 10 ●学力の現状を測るものであり、すべきでない。
- 点数が低いと言われたらそうせざるをえない。一律に愛知が低いというのもどうかと思う。外国籍が多いと日本語も理解できていないので、難しいテストができるわけがない。
- 比較されるので練習する所が出て仕方がない。
- 15 ●難しすぎる問題（児童の発達段階に合っていない）を検討すべき。また、普通の業者テストを、学テを意識した内容に近づければ、慣れてくる。
- 過去問の練習は問題ないと思う。むしろ、いままでやったことのない形式で出題されるほうがとまどいがあるって不公平を生むと思う。
- 「点を上げるため」はおかしい。しかし、形式に慣れることは必要。
- 20 ●学習の機会が増えるのは良いことだと思う。

### **(全国学力テストの実施について)**

- 授業の中で、子どもたちの感性に驚かされたり、感動させられたりすることが多々ある。そういう部分は学力テストに反映されない。紙面に表れる点数だけに振り回される教育は、教育ではない。人間性を無視しているような気がする。
- 25 ●学習の到達度をみる日々のテストで十分学力は測れるし、有効活用できるので学力テストは必要ない。
- 事前対策では学力テストの意味がないので反対です。
- 授業に影響するので中止すべきである。
- 30 ●税金を他の教育分野で使ってほしい。
- 毎年すごい予算をかけるだけの価値がない。それより、備品等や人的支援がほしい。
- 実施はしても良いと思うが、希望する学校のみ公表するようにしていけばいいのでは。
- 子どもにとっては実力が分かるので、今後の学びの参考になるかもしれない。
- 35 ●全員実施でよいが、基礎基本が身につけているか確かめるものにすべきだと思う。

## **3 勤務時間の割り振り**

### **(割り振りの現状)**

- 校長先生からたまにしか「割り振りをとってください」と言われたい。
- 40 ●管理職（校長）は、割り振りについて十分に気を配って職員に示していない。とても残念です。
- 「回復」「勤務を解く」全くありません。
- 長期休業中で多少とれているが、普段の割り振りはとれない。
- 「日常の割り振り簿が設置してある」と県教委調査ではありますが、見たことはありません。
- 45

- 割り振り簿があるので、普段でも割り振りがとりやすい。
- 学校長よりきちんとお話があるのでありがたい。
- 夏休みや冬休み等にとれている。
- 「長期休業中に」ということが多い。やむを得ないと思っている。
- 5 ●校長先生が「とってください」と言ってくださったものに関してはとっている。しかし、時間外勤務がそもそも多すぎてまかないきれない。
- 割り振りを取って下さいと管理職は言っているが、子どもたちのためや授業のことを考えると、管理職の言葉はあまり意味がない。
- ふだんは忙しいこともあるが、夏や冬に休みがとりやすいため有り難い。
- 10 ●校長からの割り振り時間の指示は出ている。とれないのは、その時間に終われない自分たちの責任も十分にあると思う。
- 仕事が多くて早く帰ることができないからほとんどとれない。

#### (割り振り簿の設置・割り振りの仕方)

- 15 ●とれてはいるが、具体的な紙面での割振簿がないため、記憶に頼るしかない状況。
- 夏季・冬季休業中に割り振られるが、体調に合わせてなど、普段から自由にとらせてほしい。
- いつとるか、どのようにとるかは人それぞれなので、本人が休みたいときにとれるとありがたい。(まとめてとったり、少しずつとったり)
- 20 ●年休だと、1時間単位しかとれないが、割り振りだと30分など短い時間でもとれる。割り振り簿を設置して、普段でもとりやすくしてほしい。
- 会議など定時をこえてのものはすべて割り振り対象にしていきたい。割振簿の義務化をお願いしたい。
- 割振変更簿の存在を知らない同僚も多い。県教委の見解のように設置してほしい。
- 25 ●どれだけの時間が割り振られるべきなのか、全く分からない。各職場で、それが分かるようにしてほしい。
- 口頭で言われてもなかなかとりづらい。朝の登校指導や週番活動等「子どものため」という理由で当たり前になっている。
- 口頭ではなく、明確に分かるような工夫は必要と考える。
- 30 ●その日の夕礼で急に「今日、割り振りにしますので、早く帰ってください。」と言われても困る。実質帰れない。事前にきちんと伝えてほしい。
- 割り振りについては、管理職の先生から声がかかるとありがたい。それだけでも気分が違う。

#### (勤務時間・休憩時間・年休など)

- 35 ●休憩時間の確保はむずかしい。せめて、文書で起案されるようなものは、割り振り対象にするべき。
- 休憩時間がほとんどとれないのに、配慮がないのがひどいと思う。
- 朝、教室に行き、児童が帰るまで、職員室のイスに座ることはめったにない。休憩なし。よく体がもっていると自分でも感心する。
- 40 ●休憩時間は実際には取れていません。
- 思いや願いをくみとってくれるので、満足している。
- しっかり対応していただき、ありがたいと思います。
- 勤務時間は、口だけの号令で、実際は17時から会議等が平気で実施される。とにかく全くゆとりがない。
- 45

- 時間外にも勤務しないと、仕事が終わらない。土日はしっかり休もうと思うと、平日は勤務時間が長くなります。
- 小学校は、学年によって授業の負担が違いすぎる。また、時間外の仕事も高学年は多いので、改善してほしい。
- 5 ●仕事に一生懸命な人ほどとれていないのが現実な気がします。
- 結局、早く帰ってよいか、割り振りとかにしても、年休もろくに消化できない状態なので、仕事量が減るわけではない。
- 多忙。休みがとれない。
- 長期休業がある分、他の業種より恵まれているのではないか。
- 10 ●土日の部活動で、『若い先生は熱心』に毎日やるのが『良い』という雰囲気があり、困っています。

#### **4 教職員の健康問題と多忙化解消**

～健康で働き続けられるために何が必要か～

##### 15 (仕事量や持ち時間数を減らす)

- 担任の時間数を減らすこと。真剣に取り組むと教材研究準備で授業後も、ものすごい時間を取られる。加えて生徒指導の問題の処理もある。小学校でも担当教科の幅を狭め担当時間を減らす必要がある。
- 教育する上で、行事や体験、研修などを精選していくこと。やるべきことは山ほどある。しかし、スリム化を考えていくことが大切。
- 20 ●平日夕方5時過ぎと土日は学校を閉鎖することを徹底する。勤務時間内に仕事がおわるだけの仕事の内容にする。教員は教育することが仕事、子どもの養育係ではない。
- 持ち時間数を減らす。
- 25 ●割り振りで早く帰れるのはよいが、結局持ち帰っての仕事はカウントされないのだから、その点教員や保育士はブラックだと思う。
- 事務作業の負担軽減。
- 行事の縮小化（特に学芸会。年々派手になっている。）
- 新しい取り組みは大切だが古い取り組みは残されている。新しい取り組みをするのなら古いものを減らす上で行ってほしい。
- 30

##### (少人数学級・人的加配)

- 教員1人当たりの仕事量を減らすためにも1学級の人数を減らしてほしい。
- 1学級の少人数化が必要。
- 35 ●職員数が少なく、休むと子どもや同僚に迷惑をかけると思ってしまう。学級に入れるほかの職員がいるという安心感がほしい。
- 1人の人間がこなせる仕事には限界があり教師も人である。生活指導、授業に力をつけるには、その他の業務を代わりに行うものがいなければ回っていかないと思う。
- 教育現場はどこも多忙だと思います。多忙化解消の為に業務内容を見直したり、学級を20人以下にしていただけると、少しは多忙化解消できるのではないのでしょうか。
- 40 ●学校は子どものためになると思えばすべてを受け入れてしまうところがある。何かを増やすなら何かを削るということを考えてほしい。本当に何が必要なのかを考えて行事を減らすことが必要。また、人を増やして仕事を分担できるようにしてほしい。
- 45

- 安心して休みがとれる職場環境にするためには、教員の加配が必要だと思う。
- 正規教員を増やすこと。小規模校に対して教員、講師、支援員が少なくないという考え方はやめてほしい。
- 部活動の外部への委託。
- 5 ●教員がすべき職務内容がどんどん肥大化している。外部や地域に任せられることは連携できたらいいと思うが難しそう。

#### (管理職のリーダーシップ・働きやすい職場づくり)

- 管理職の義務として、休憩や割り振りがしっかりとれるようにしてほしい。
- 10 ●育児中の職員に配慮してほしい。職員会議や企画委員会が時間外まで行われる。保育園のお迎えが遅くなり、家事や育児に支障が出ている。
- 校務分掌などの割り振りの適正化。多くの仕事を抱える人とそうでない人とのバランスをよくする。
- 仕事の割り振りが平等ではないと思う。校務分掌の受け持つ数は同じでも、仕事の数は分掌ごとにちがうので、そこも考慮してほしい。
- 15 ●無記名の保護者向け学校アンケートの結果を学校のホームページで配信することで、無責任な言動に振り回されている。職員の士気も下がる。
- しっかり話が聞ける上役をつける。
- 悩みなどを職員室でオープンに話すことができる環境。
- 20 ●一教師の意見や要望が反映されにくい状況です。
- 私は今、とてもすばらしい環境でお仕事させていただいております。今の教育現場が、今までと比べて最も良い状態だと思って、仕事をさせていただいております。ありがとうございました。
- パワハラ・セクハラ問題、だれに相談したらよいか、教えてほしい！
- 25 ●あまりに煩雑で自律神経が狂い、体にあれこれ不調が出ている。団塊世代がどんどん退職し、中年の我々はさらにストレスが増えそう。
- 学校は、学校長の覚悟で雰囲気が変わる。親分が管理職かで異なる。

#### (その他)

- ゆとりがほしい。
- 多忙化しています。土日仕事があったり、平日も夜遅くまで仕事をしています。
- 在校時間については、タイムカードにより客観化すべきと考える。管理職の意向で残業が見かけ上減るのはおかしい。
- 「教員の多忙化解消プロジェクトチーム」の提言の具体化が大切。どの中学校の部
- 35 活顧問もルールをまもることができるのか。

## 5 その他

### (駐車料金)

- 駐車料金はぜひなくしてほしい。
- 40 ●駐車料金徴収はどう考えてもおかしい。でも一向に改善されない。その改善されない理由が明確に示されていない。矛盾しています。
- 駐車料金についてはなくしてほしい。車でないと通勤できないのに料金を払うのは納得できない。
- 駐車料金をとるなら、駐車場所を整備をしてほしい。
- 45 ●駐車料金については納得できない。全職員が公共交通機関で通勤したら、どれだけ

の出費になるのか。

- 駐車料金を払うのはわずらわしい。財政が厳しいのなら、そのことをはっきりと職員に伝えて、「教育協力費」という名目等にかえてほしい。

5 (教職員評価制度)

- 教職員評価制度は全く無意味。
- 教職員評価制度は続ける意味はあるのか。いいかげんやめてほしい。
- 教職員評価制度は必要ないと思う。

10 (学校訪問)

- 学校訪問は、帳簿点検と参観で十分。指導案作成や研究授業の細案づくりで多大な時間が現在使われている。
- 学校訪問は、他の市町にもあるようにやめるか、学校管理訪問にすべきである。
- 学校訪問なんてやめればいいと思います。1日でその学校のことが分かるわけではないし、資料まとめで仕事が増えるだけです。

15 (その他)

- 子どもたちは多様な個性を持っている。それを平らにならすような押しつける指導やスタンダード化ではなく、一人一人が自分らしさを発揮しながら学びあえるように教師がファシリテーターとなってコーディネートしていくべきである。
- 子どもと向き合う時間は本当に少ない。困る。
- 子どもと向き合える時間や教材研究の時間を確保し、本来の教員としての仕事ができるように変えていただけるよう要求していきたい。
- 多忙。この状況をあたり前としてはいけない。職業には「定時」が存在するのだから、これに見合った教育も考える必要がある。
- 子どもが大事であるが、だからといって教師の負担を増やせばいいという風潮を社会が脱却しなければいつか学校教育は崩壊すると思う。社会が変わっていく必要があると思う。
- とりあえず市町にまかせすぎている。しっかり、せめて地区でそろえていく必要がある。当たり外れの発想が生まれている。
- 世の中が学校に対して厳しい目を向けているので、学校が「守り」に入っている。それが、いろいろな規制となって教育にのしかかっているように思う。